

心の輪13R



『**雨の日の届け物**』という資料を通して、
「**友情**」について考えました！



この時間を振り返り、学んだことは、一度は悪く思ってしまった友達でも、本当は優しく、自分のことを想ってくれているということ学んだ。一度ケンカをしてしまっても、仲直りすれば、とても仲の良い関係に戻ることができること分かった。

自分のことよりも相手のことを思う気持ちは、やっぱり大切なんだと思う。自分のことばかりを考えると、後から恥ずかしい思いになるし、相手にも迷惑をかけてしまう。

今日、この物語を読んで学んだことは、人を思って行動することは大切なんだということです。もう一つは、嘘についてはいけないと思いました。友達を大切にしていきたいです。

自分も同じようなことがあったので、気持ちが分かった。やはり、友達ならすぐに仲直りできる。色々な友達と付き合っていくことになるので、このようなことがたくさんあると思う。

友達というのは、自分と気が合うだけでなく、何でも言い合えるのも大切だなと思いました。ひとみさんは、最初、意地悪をしたけど、すずらんを持って帰らなかった自分もいけないと思いました。

感謝などを言葉で表せなくても、物をプレゼントしたり、行動で示したりすることができたらいいなと思った。この話を読んでみて、改めて友達はいいなと感じた。

最初は、図書館でイライラして嫌な人だと思っていたけど、すずらんを持ってきてくれたことで、やっぱり優しい人だと思った。友達でも、イライラすることもあり、でも、優しいところもあることで、より深く仲良しになれる。

友人を得たきっかけ (各国比較)

(%)

国名	順位	1位	2位	3位	4位	5位
日本	学校で	91.5	職場で(アルバイト先を含む) 36.6	学校以外のクラブ・グループで 16.2	近所で 12.3	同郷ということで 7.6
韓国	学校で	89.0	学校以外のクラブ・グループで 30.0	職場で(アルバイト先を含む) 20.0	近所で 15.2	同郷ということで 11.5
アメリカ	学校で	84.1	職場で(アルバイト先を含む) 47.6	近所で 39.9	同郷ということで 33.1	学校以外のクラブ・グループで 27.4
スウェーデン	学校で	89.6	同郷ということで 37.2	学校以外のクラブ・グループで 36.8	職場で(アルバイト先を含む) 36.0	近所で 35.6
ドイツ	学校で	55.7	学校以外のクラブ・グループで 32.6	近所で 30.7	同郷ということで 28.6	職場で(アルバイト先を含む) 26.5

(第7回世界青年意識調査による)

18歳から24歳を対象としたこのアンケートでは、いずれの国も、友人を得たきっかけの1位は「学校」となっている。

このデータを見て、あなたはどんな感想をもちますか？

『中学生の道徳1 自分を見つめる』
(出版：あかつき) P.83より引用

自分の意見を深められました。自分もそんなことがないようにしたいです。早く仲直りをすることも大事だと思いました。

友達との考えのすれ違いに気を付けなければいけないと思いました。図書館で二人の考えが違ったからこうなったのかなと考えることができました。友達に嫌な思いをさせないようにしたいなと思いました。

とても仲良しだった友達と、ちょっとしたことでケンカになってしまい、一ヶ月くらい話をしませんでした。でも、私が話しかけると、笑顔で話をしてくれました。そのときから私は、友達の意見を大切にすることにしました。

自分も友達と仲良くないときもあったことがあるので、自分の気持ちを素直に伝えることが大切ということが分かった。

ケンカしても、自分から謝ったり、話を聞くことなど、仲直りするきっかけはたくさんあるので、友達は大切にしていきたいと思いました。

友達に対する思いを改めるような話だった。友達の大切さと色々な感情について学んだ。友達は複雑だと思った。